



発行所
公益財団法人 青森県消防協会
〒030-0113
青森市第二問屋町4丁目11-6
電話 017(763)5333
FAX 017(739)1160

2023年度
全国統一防火標語

火を消して
不安を消して
つなぐ未来

消防協会ホームページ



第76回 日本消防協会定例表彰



令和6年3月8日(金)、東京都新橋のニッショール(旧ヤクルトホール)において第76回日本消防協会定例表彰式が開催されました。
本県からは、当協会 下山会長・坂本副会長の他、特別表彰「まとい」を受章した階上町消防団水合団長、南副団長、優良消防団(表彰旗)を受章した弘前市消防団仲野方面団長が参加しました。
また、引き続き同会場にて、神戸大学名誉教授室崎益輝氏を講師に迎え、全国消防団大会講演会「能登半島地震とコミュニティの役割」が開催されました。青森県内消防団の表彰受章者は次のとおりです。

日本消防協会表彰受章者

- 特別表彰「まとい」**
階上町消防団
- 優良消防団(表彰旗)**
弘前市消防団
- 功績章(十七名)**
五所川原市消防団 団長 白川 仁
六戸町消防団 団長 坂本 進
五所川原市消防団 団長 阿部祐一
弘前市消防団 団長 仲野浩二
弘前市消防団 団長 佐藤哲之
板柳町消防団 団長 北島憲一
東通村消防団 副団長 伊柳晴美
八戸市消防団 副団長 西村真吾
南部町消防団 副団長 坂本重悦
おいらせ町消防団 副団長 西館松雄
六ヶ所村消防団 副団長 松下志美雄
青森市青森消防団 副団長 山本義明
青森市青森消防団 副団長 澤谷一男
- 精績章(四十二名)**
青森市浪岡消防団 団長 山田欣也
十和田市消防団 副団長 栗山敬一
十和田市消防団 副団長 高橋淳一
東通村消防団 副団長 中村 司
鱒ヶ沢町消防団 副団長 神 信義
大間町消防団 副団長 泉 徳隆
つがる市消防団 副団長 今 守
田子町消防団 副団長 木崎正夫
野辺地町消防団 副団長 田荷昭利
むつ市消防団 副団長 松野裕而
青森市浪岡消防団 副団長 山内栄隆
八戸市消防団 副団長 館 長作
七戸町消防団 副団長 椎葉 誉
弘前市消防団 副団長 熊谷幸治
外ヶ浜町消防団 副団長 掛村隆二
東北町消防団 副団長 瀨川 亨
弘前市消防団 副団長 石岡植喜
弘前市消防団 副団長 吹田雄樹
田舎館村消防団 副団長 寺澤和夫
七戸町消防団 副団長 工藤謙逸
弘前市消防団 副団長 泉 徳隆
弘前市消防団 副団長 山野芳朋
横浜町消防団 副団長 秋田陽一
野辺地町消防団 副団長 中田博光
八戸市消防団 副団長 西村利勝
むつ市消防団 副団長 板井一丸
三沢市消防団 副団長 石ヶ守桂一
八戸市消防団 副団長 横水正人
むつ市消防団 副団長 佐野 潔
むつ市消防団 副団長 武藤直人
大間町消防団 副団長 南 芳司
つがる市消防団 副団長 蝦名正生
八戸市消防団 副団長 山田信一
八戸市消防団 副団長 岩沢 誠
八戸市消防団 副団長 三浦俊司
三戸町消防団 副団長 水梨 実
南部町消防団 副団長 山野芳朋
弘前市消防団 副団長 田村幸靖
五戸町消防団 副団長 和田俊栄
青森市浪岡消防団 副団長 三上定浩
弘前市消防団 副団長 今井松司
青森市青森消防団 副団長 石井聡子
五所川原市消防団 副団長 岩村好枝

勲章等は、紙面の都合上、後日当協会ホームページで名簿を公開します。

階上町消防団、特別表彰まとい受章



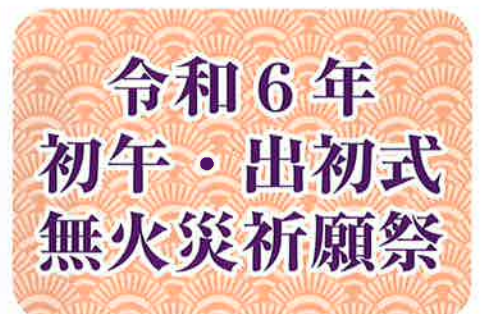
第76回日本消防協会定例表彰式において、階上町消防団が特別表彰「まとい」を受章しました。
特別表彰「まとい」とは、全国の消防団の中から毎年10団体が授与される、日本消防協会が行う表彰の中で最高位に位置付けられる最も榮譽ある表彰です。
階上町消防団は、県内で10番目の受章となりました。
階上町消防団水合団長は、「榮譽ある表彰を受章したことは、我々階上町消防団だけではなく、消防関係者及び町民にとってもこの上ない喜びであり誇りだ。献身的に活動されてきた諸先輩方、団員のご家族、そして常備消防の皆様のご尽力の賜物。郷土愛護の精神を後世に伝えるながら、今後も地域防災力の向上を図るため一層精進したい」とコメントしました。
階上町消防団について
階上町消防団は、大正11年階上村消防団の設立に始まり、階上村警防団、階上村消防団、町制施行に伴い現在の階上町消防団となり、一昨年設立100年を迎えました。現在、本部及び7個分団で組織され、団員138名、そのうち女性消防団員は7名と なっています。



外ヶ浜町



おいらせ町



青森市青森



板柳町



風間浦村



鱒ヶ沢町



野辺地町



平内町



田子町



横浜町



階上町



十和田市



三戸町



五戸町



深浦町



東通村



八戸市



田舎館村



六戸町



西目屋村



弘前市



鶴田町



藤崎町



大間町



南部町



蓬田村



むつ市

令和6年 青森県 春の火災予防運動の 実施

令和6年4月8日(月)から14日(日)までの7日間にわたって、青森県春の火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とするものであり、今年度の全国統一標語は、「火を消して 不安を消して つなぐ未来」です。

最重要目標

- (1)住宅防火対策の推進
- (2)林野火災予防対策の推進

重点目標

- (1)特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (2)放火火災防止対策の推進
- (3)製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (4)多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- (5)乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (6)地震火災対策の推進

となつていきます。

全国の火災の状況を見ると、住宅火災の件数は令和3、4年と増加傾向にあり、複数の死傷者を伴う火災が発生しています。

また、火の不始末や火の粉が山林に飛び火することなどにより林野火災が増える傾向にもあります。

各消防団、団員の皆様は、こうした火災や災害の状況を踏まえ、重点的に火災対策の推進を行いましょ

2022年新型 **VF63BS** B-2級
VF53BS B-3級

4 STROKE

QRコード

消火・排水対応

クラス最軽量 乾燥質量比較(セルスタータ式)

VF53BS/VF63BS	84.5kg
VC42AS/VC62BS/VC72BS	85.0kg
VF53AS/VF63AS	98.0kg

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
03-3966-3115 FAX 03-3966-0090

TOHATSU

モリタ式各種消防ポンプ自動車
トーハツ各種小型動力ポンプ
キンパイ、消防用各種ホース
消防服、防火衣、刺子外套
コミュニティー防災資機材
防災、防護、消防用品

振り縄M-3型

丸栄消機

〒030-0903
青森市栄町一丁目12-1 TEL017-742-1186 FAX741-8931

令和5年度市町村消防団長 事務担当者合同研修会

令和6年2月1日(木)、青森市のホテル青森において令和5年度市町村消防団長・事務担当者合同研修会が開催されました。本研修会は、県内の消防団長、消防団事務担当者が一室に会し、消防団として職務を遂行する上で必要とされる資質の向上と知識の習得を目的として例年開催されており、本年は90名が参加しました。



研修会には、弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科長立岡伸章教授を講師にお招きし、「未来を担う者たちへの使命」「新時代の消防団に必要なスキルと知識」と題した講演を行いました。講演では、近年減少の一途をたどる消防団員を年齢構成や被雇用者、女性や学生といった様々な視点から分析し、新時代の消防団に必要なスキルと



知識、解決すべき課題についてお話しいただきました。また、現在弘前市においてプロジェクトが進行している学生消防団の設立や、令和3年に開催された市民防災メディアカルラリー(Lit Media)など、先進的な活動事例を紹介していただきました。「天災は毎年忘れずに日本のどこかにやってくる。それも想定を超えて」という印象的な言葉に、参加者一同身の引き締まる思いで熱心に傾聴していました。

講演後には、主催(公財)青森県消防協会から、今後の行事予定の報告を行いました。令和6年度には、新日消会館完成報告会や、第30回全国消防操法大会(開催地:宮城県利府町)等が計画されています。各行事の詳細については、新しい情報が入り次第、当協会から随時各市町村消防団事務局を通しお知らせします。

消防団活動報告

令和6年の新しい年を迎え、県内の消防団では、出初式や無火災祈願等の新春行事の他にも様々な活動を行いました。本誌では各消防団の活動を県内で共有し、今後の活動の参考とするため、活動事例を掲載します。

十和田市消防団研修会

令和6年2月18日(日)十和田地域域事務組合消防本部 講堂において、令和5年度十和田市消防団研修会が開催されました。

午前に行われた女性の部には、女性消防団員30名が参加し、十和田消防本部 庶務課 米田主査による「人命救助に携わる現役消防士が伝える自分自身と大切な人の命を守る方法について」と題した講演を聴講しました。令和6年能登半島地震や羽田空港地上衝突事故、笹子トンネル天上板落下事故などの事例を挙げながら、消防士と消防団員が協力し、一人でも多くの命を救うための心構え、行動を学びました。また、講演後には、参加者である女性消防団員によるラッパ隊の紹介や、全国女性消防操法大会について等、活動報告や意見交換が行われました。

また、午後に行われた男性の部では、十和田消防本部 警防課 仁和課長補佐を講師に迎え、消防ポンプ車の取扱いに関する研修を行いました。研修には95名の日頃から各分団で実際にポンプの取扱いを担当する団員が参加し、ポンプの構造や管理方法、運用方法を学びました。その後、屋外にてポンプの揚水及び放水訓練を行い、理解を深めました。消防ポンプは正しく取り扱うことで、その性能を十分に発揮し、有効かつ安全に使用することができることを再認識し、研修会は大変有意義なものとなりました。



第18回 女性消防団員 交流会

(県南地区)



令和6年2月25日(日)おいらせ町みなく館において、第18回女性消防団員交流会が開催されました。この研修会は、県南地区の女性消防団員を対象として例年開催しており、本年は9団、1消防署から77名が参加しました。研修会では、八戸地域広域市町村圏事務組合から講師を2名お招きし、講演が行われました。概要は次のとおりです。

「女性消防職員を増やしたい」
八戸地域広域市町村圏事務組合
消防士長 館石成海

「あなただけの防災」
八戸地域広域市町村圏事務組合
消防司令 大島寛史

コロナ禍で4年振りの研修となったこともあり、参加者は講演の内容やこれまでの活動について活発に意見交換を行い、交流を楽しんでいました。

MORITA

MORITA GROUP



普通免許対応車両総重量3.5t未満CD-1型
ミラクルLight



アルミ製蓄圧式粉末消火器
アルテシモ

株式会社 **モリタ** / **モリタ宮田工業** 株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号

電話 022-238-6461(モリタ 仙台支店)

022-238-4711(モリタ宮田工業 東北営業部)